



2024年1月24日
株式会社バルカー
総務部 広報担当

設備点検プラットフォーム「MONiPLAT」、 導入社数 300 社を突破

株式会社バルカー（本社 東京都品川区、代表取締役会長 CEO 瀧澤利一、以下バルカー）が開発・提供する設備点検プラットフォーム「MONiPLAT」（モニプラット）が、2023年4月に提供開始してから約9ヵ月で導入社数300社を達成いたしましたので、お知らせいたします。

今後もあらゆる点検作業を一元管理するプラットフォームとして、アジャイル開発を実践することでより柔軟にかつ迅速にサービスをユーザーに届け、サービスの品質を向上させていきます。また、外部サービスとの連携推進や TBM (Time Based Maintenance)、CBM (Condition Based Maintenance) 機能の追加などラインアップを拡充し、お客様とのつながりを活かしながら遠隔監視領域での事業化も着実に進めてまいります。

■設備点検プラットフォーム「MONiPLAT（モニプラット）」

<https://moniplat.com>

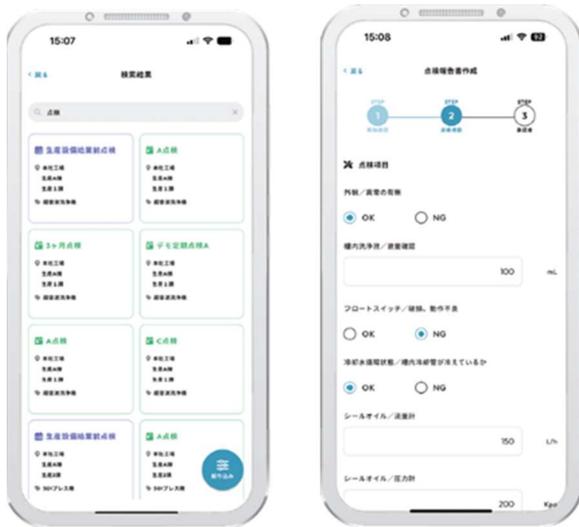


第1図 MONiPLAT™のサービス登録画面

■設備点検プラットフォーム「MONiPLAT（モニプラット）」とは

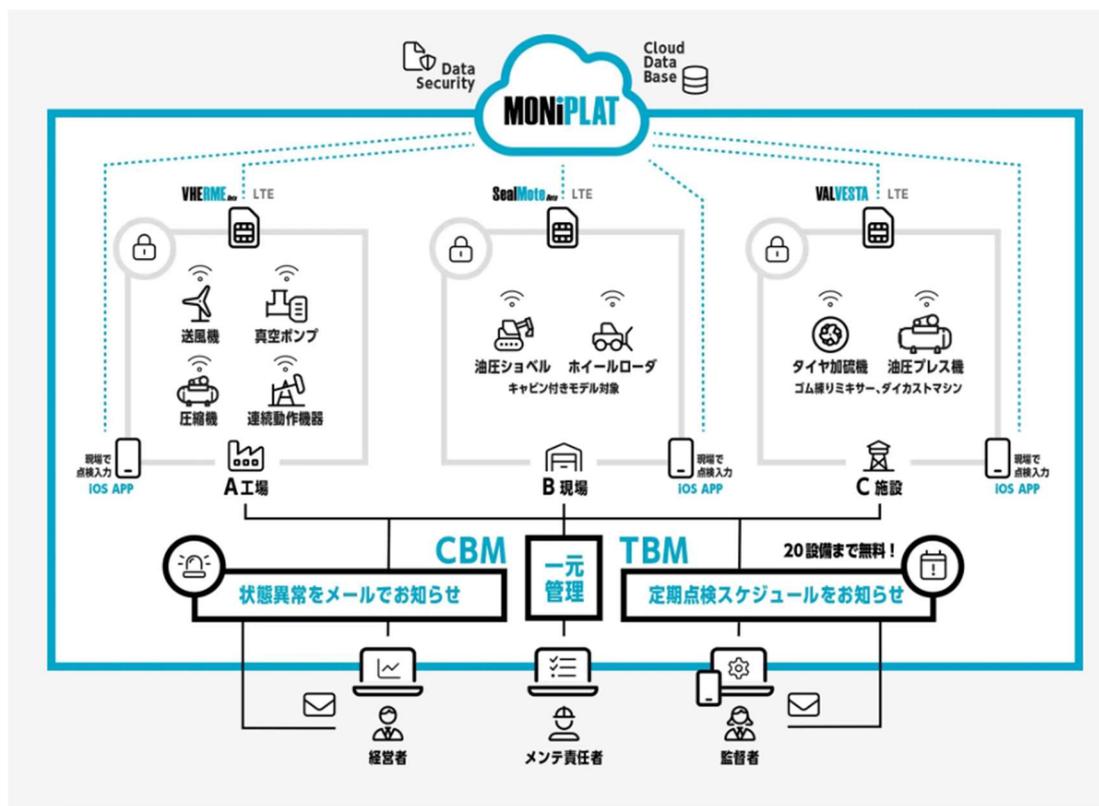
設備管理デジタルサービスの「一元管理」ツールで、現場管理の基本である定期点検にフォーカスしたサービスです。現場で行われているアナログな紙での点検業務を、

スマートフォンやタブレットで簡単にペーパーレス化。スマートフォンやタブレットでの点検設備の検索・点検報告書作成やリアルタイムでの承認申請に加え、複雑で煩雑な設備点検のスケジュール管理や点検予定のリマインドも可能。それに加え、予知保全サービスとも連携したワンストップ管理が可能なプラットフォームとして、利用可能サービスを今後もさらに拡大していく予定です。



第3図 MONiPLAT™のサービス (PCイメージ)

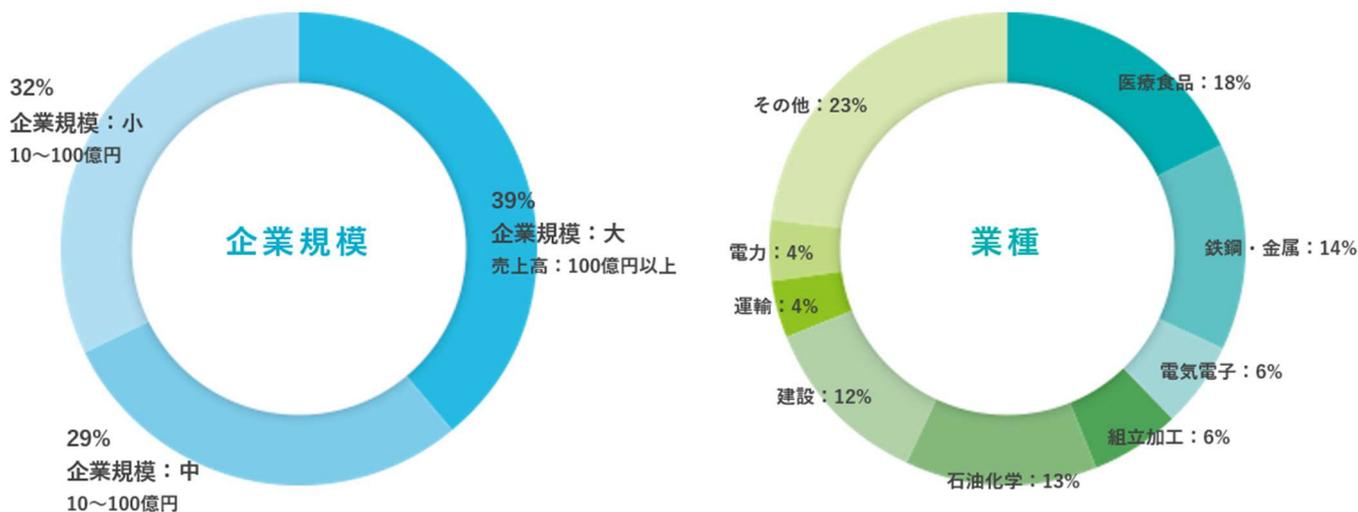
〈点検設備の検索〉 〈点検報告書の作成〉
第2図 MONiPLAT™のサービス (スマホイメージ)



第4図 MONiPLAT™の一元管理イメージ図

■「MONiPLAT」導入企業の内訳

石油化学、食品、金属加工、建設、農業など業種問わず、現場の業務効率化を図り、ひいては人手不足の解決にも寄与しています。



■導入企業の声

紙ベースの点検をやめたい、定期記録を紙で保管したくないといった課題がありましたが、モニプラット導入により、デジタル定期保全で会社の iPad も有効活用でき、クラウド保管により保管スペース確保が不要になりました。安心のサポートにより、定期保全のスムーズなデジタル化を進めることができました。初期費用無料で20設備まで無料なのも導入しやすかったです。(株式会社デジック様)

バックオフィス効率化や、車両情報など情報共有のタイムラグを削減したいと考えていました。モニプラット導入後は、車両情報の共有がリアルタイムにでき、定期保全が断然楽になりました。レポート機能もあり、エビデンスが残せるのも重宝しています。(株式会社スリーシープランニング様)

報道に関するお問い合わせ

株式会社バルカー 広報担当

TEL: 03-5434-7370 FAX: 03-5436-0560

<https://www.valqua.co.jp/inquiry/form/jp/index.php>

—以上—